



令和6年7月19日号 校長 江田 慶久



おのでらっ子のがんばりと保護者や地域の皆様のご協力により、1学期を無事に終えることができました。6月の学校だよりで掲げた「重点」も達成できたと思います。(↓再掲) ありがとうございます。

■運動会の成果を今後の生活に生かしましょう。

運動会スローガンに沿って、これからも

「力を合わせて あきらめない 小野寺小!」

「力を合わせて あきらめない ○年生!」

■6月から「縁怒居(えんじょい) おのでら」

全校体制での危機管理⇒プール事故0の実現!

体調管理に気を配り、熱中症0! (=暑さ指数確認)

■教室も職員室も笑顔と元気!

記録的な暑さや天候不順が続いたせいか、体調をくずしてしまった児童も見られました。それでも、一人ひとり、その時の自分にできることを精一杯がんばってくれました。1年生も、この暑さの中での登下校は、想像以上に大変だったのではないのでしょうか。校歌にある♪長い坂道~♪は、一生忘れられないフレーズですね(;^_^ そういう意味でも本当によく頑張りました!

さすが、おのでらっ子!



1年生のアサガオも見事に咲きました(^▽^)/

<終業式での校長式辞>

1. 1学期みんなよくがんばりました! ありがとう!
2. 「安全な夏休み」を過ごしてください!
3. 「楽しい夏休み」を過ごしてください!
4. 「思い出に残る夏休み」にしてください! 以上(^▽^)/

酷暑の中での終業式ということで、みんなには教室にいてもらって、放送で式辞を述べました。今回の挑戦は、“今までで一番短い式辞”ということで、上の4つを述べて終わりにしました。抽象的なことばかりですが、自分なりに「安全で楽しく、思い出に残る夏休み」にしてもらえればと思います。

※職員には、4つのお願いを伝えました。

2学期に向けて、

1. 研修をしてエネルギー充電!
2. 気分転換をしてエネルギー充電!
3. 読書をしてエネルギー充電!
4. 交通事故等に気をつけて、
エネルギー“放電”防止!

※これを、おのでらっ子に当てはめるなら、

1. 宿題や自主学習をがんばろう!
2. 夏休みにしかできないことに挑戦しよう!
3. 普段よりもたくさん本を読もう!
4. 交通事故等に気をつけて、おうちの人に心配をかけないようにしよう! ですね!

これは、昨年度「こんな夏休みにしよう」ということで



話した内容です。参考までに(;^_^A

★	か	かんしゃの気持ちでお手伝い
★	き	決まりを守って、安全な生活
★	こ	ゴール(目標)を決めて、計画的な学習
★	お	小野寺の文化財・史跡の見学
★	り	立腰1分! 家でも心と姿勢をととのえよう!

★ 目標(目標)を決めて、計画的な学習

◎夏休み、何を、どんなふうにごんばろうかな?
何ができれば(=ゴール)この夏OK!かな?

- ・先生は、「こういうところ」ががんばるといって
言ってくれたな…。
- ・自分では、「こういうのも」ががんばってみたいな…。

<大阪市立大空小学校初代校長 木村泰子先生>

以下の内容は、木村先生の著書にあったことです。木村先生は、著書の中で次のようなことをおっしゃっています。

以下、読み取ったことを江田なりにアウトプットしました。

- ・学力には「見える学力」と「見えない学力」がある。
- ・「見える学力」は、点数や数値で測ることができる。
- ・「見えない学力」とは、小学6年生の子どもが10年後に社会に出て、なりたい自分になるために必要な力である。そのために必要な力が、次の「4つの力」である。

・ 1つ目の力は、「人を大切にする力」

・ 2つ目の力は、「自分の考えをもつ力」

・ 3つ目の力は、「自分を表現する力」

・ 4つ目の力は、「チャレンジする力」

私も、今まで同じようなワードを使ってきましたが、言葉の重みも根拠も比べものになりません。この夏の読書は、木村泰子先生の著書にどっぷりつかり、これまでの自分を振り返ってみたいと思っています。その総復習として、木村先生のご講演を拝聴したり、本校の職員研修の1つとして、オンラインで、木村先生のご講演を視聴したりする予定です。

木村先生のおっしゃる「4つの力」に戻りますが、学校だより7月1日号では、次のような内容を掲載しました。



【令和6年度学校課題】

自分の思いや考えを表現する力を育む指導の工夫
～ふるさとのよさを発信できる児童の育成をめざして～

この学校課題のもと、教科や領域、校外学習等を通して、1年間取り組んで行きたいと思っています。

副題に「ふるさとのよさ」とありますが、この学びをとおして、地域のよさ→学校のよさ→家族のよさ、そして、自分のよさに気づきながら、自信をもって、自分の学んだことを(そして、自分自身を)、いろいろな方法で表現し、伝え合うことで、お互いの資質を高めていく。自分の生活範囲が広がって行っても(小学校→中学校→高校等→社会)自信をもって自分らしく生きていく。そして、将来、どこで暮らすことになっても(たとえ、月面基地でも)、心の中のどこかには、「ふるさと」がある。そんなふうになってくれれば、この課題に迫った甲斐があるなと思います。

つまりは!

本校教育の方向性は間違っていないと確信できました。あとは、いかに具現化していくかですが、1学期も多くの地域の方々にお世話になり、子どもたちにとって貴重な学習の場となりました。

2学期も、1学期同様、様々な取組や行事をとおして、学校課題に迫っていきたく思いますので、保護者ならびに地域の皆様には、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。そうすることで、木村先生のおっしゃる「4つの力」→「見えない学力」も高めていけたらと思います。6年生の「10年後に生きる力!」

7/10(水)6年生対象に、栃木市社会福祉協議会による「地域のお宝講座」が開かれました。地域協議体、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、さくら会、つくし会、地域福祉サポーター、地元産業界等をはじめとして、たくさんの地域の方々とお野寺の魅力について話し合う機会を得ました。まさに、「今後に生きる力」(生き方を考える力)を身に付ける一助になったのではないのでしょうか!

それから・・・

4・5年生には、夏休みの個別面談で!



6年生には、夏休み明けに!

4月に実施した学力検査の結果が返されます。つまり、「見える学力」の方です。こちらも大切です。自分の「見える学力」を高めるためにはどうすればよいか。そのための貴重な資料になると思います。もちろん「学びのすがた」も参考にしてくださいね!

